

# 船井情報科学振興財団 2013年度 留学報告書 (10月)

ケンブリッジ大学工学博士課程デザインマネジメント専攻  
重本祐樹

ケンブリッジ大学工学博士課程1年目の重本祐樹です。製造業研究所のデザインマネジメントグループに所属し、ものづくりにおけるデザイン学の研究をしています。入学から約1ヶ月、現在までの様子を報告させていただきます。

## 【正課活動】

ここでの学生生活が始まり、早くもひと月が経過しました。毎日忙しくも充実した日々で、時間の経過がとても早く感じられます。

私の博士課程一年目は「保護観察付き (Probationary)」なので、修士課程の学生と同様にコースワークがあります。現在は Reading Group (課題の論文を読み、それを元にした議論をする少人数クラス)、定性調査方法論、Research and Communication Club (良き研究者たる為には?の授業です)を受講しており、それらと平行してほぼ毎週の指導教官とのミーティング、研究課題の絞り込みをしています。Reading Club と Research and Communication Club は毎週1回ずつ、定性調査方法論は週に2回の講義だけですので、日々の生活のスケジュールは割と融通が利きます。しかし、当然1回の授業のための予習・復習の量が多いので、日中はほとんど研究室や図書館、自宅で作業しています。最近専ら、社会科学の哲学、デザイン学の思想と奮闘中です。

慌ただしく過ぎる毎日ではありますが、こうして自分の好きな研究を目一杯させて頂ける環境は本当にありがたく、日々楽しみながら邁進しております。また、修士課程までは文社系だった私にとって、研究室に自分のデスクを貰えたのは初めての経験で、非常に嬉しかったです。同時に、いち博士課程院生として、研究所のホームページに自分のプロフィールが掲載された時には、改めて身の引き締まる思いで、船井情報科学振興財団を始め、周りの方のご支援に精一杯応えられるよう、今後も頑張っていきたいと思います (プロフィールです、宜しければご覧下さい : <http://www.ifm.eng.cam.ac.uk/people/ys402/>)。

## 【課外活動】

正課の研究以外では、大学のバドミントン部の入部試験に合格する事ができ、週に2、3日ほど練習や試合に励んでおります。また、カレッジのボート部にも所属し、早朝から全身に朝日を浴びながらケム川で漕いでおります。どちらも頭をリフレッシュし、心身の健康を維持するのにとても貢献してくれています (筋肉痛を除き)。同時に、どちらも所属研究所とはまた違った、大学横断型コミュニティ、カレッジコミュニティですので、友人関係の幅も広がり、色々と刺激の多い日常です。こういった多様なコミュニティに参加できることが、ケンブリッジ大学の魅力、そして強みの一つではないでしょうか。

# 船井情報科学振興財団 2013年度 留学報告書 (10月)

ケンブリッジ大学工学博士課程デザインマネジメント専攻  
重本祐樹

スポーツ以外にも、ケンブリッジの日本人会である十色会の本年度の幹事を任せて頂くこととなりました（ホームページ：<http://www.societies.cam.ac.uk/cujif/>）。こちらは大学院生や訪問研究員、ポスドクの方が主な構成員で、定例セミナーやディスカッションを主な活動としております。セミナー講師を随時募集ですので、どなたかケンブリッジにお越しの際に「是非私の研究を聞いて欲しい！」という方がいましたら、ご一報下さいませ。ちなみにこの会、FOS同期の篠原君が会長をやっております。

## 【日常生活の徒然】

私の住まいはシェアハウスで、アイルランド人、スウェーデン人、カナダ人、インドネシア人のハウスメイトと共同生活をしています。家から研究所までは自転車で約20分ほどかかり、毎朝カレッジ群の間を縫って通勤しています。また、研究所、工学部、ビジネススクール、カレッジでそれぞれ授業やアカデミックイベントがある上、市内に点在する図書館に別々の本を取りに行かなければならなかったりと、割とアクティブな研究者生活を送っています。それ以外にも、著名人を招いてのディベートやコンサート、聖歌隊公演、社交パーティなど、何かしらのイベントがほぼ毎日発生している、そんな素敵で町ケンブリッジです。実はこの原稿を執筆している数時間前にも、イベントのためケンブリッジを訪れていた英国王室の方に偶然お目見えしました。

以上、非常に簡単にではありますが、私のこちらでの生活を報告させて頂きました。今後は、進級をかけた論文提出や口頭試問、学会参加に加え、バドミントン部のVarsity Match（ケンブリッジとオックスフォードの対抗戦）やカレッジでのボートレースなど、非常にエキサイティングな内容盛りだくさんの大学生活が待っているのです、期待に胸膨らませながら日々諸事に勤しんでおります。今後とも温かく見守って頂ければ幸いです、よろしくお願い致します。

最後まで読んで頂き、ありがとうございました。引き続き頑張つて来ますΣd(・ω・)

2013年10月末日  
重本祐樹

Doctoral Researcher in Design Management Group  
Institute for Manufacturing (<http://www.ifm.eng.cam.ac.uk/>)  
Department of Engineering  
University of Cambridge